公益社団法人川越市シルバー人材センター
令和２年度　事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い世界経済が大きく減速し、今年７月に開催を予定していた東京五輪も来年に延期されるなど、日本経済も以前の状態に戻るには相当の期間を要するように思われます。

川越市において、市施策へ新型コロナウイルスの問題が影響する中、少子高齢化問題などに対し、シルバー人材センターの参画が期待されております。引き続き市や関係機関と連携しながら当センター事業活動を一層強化・充実させる必要性があります。今年度は、当センター設立 40 周年の節目の年であるとともに、第 3 次中期 5 ヵ年計画の最終年となります。昨年度末に日本でも感染が拡がった新型コロナウイルスの影響により、センターを取り巻く環境も厳しい状況が続くものと思われますが、会員の増強や就業機会の拡大、安全就業の徹底を柱に、地域高齢者福祉の担い手として社会の発展に貢献できるよう第４次中期５ヵ年計画を策定し、着実にシルバー事業を推進してまいります。

●令和２年度の重点実施事業

① 就業機会の拡大

就業機会の確保のため、職種に応じて「就業希望者の登録制度」を実施し、迅速な受託体制の構築のもと就業機会の拡大に努めます。

また、会員の就業機会の拡大・拡充を図るため、「出張就業相談会」を含め就業相談会を充実させ、就業のマッチングに努めます。

② 安全・適正就業の徹底・推進

安全就業の意識を周知徹底するため、仕事別グループリーダー・サブリーダーなどに協力を求め事故撲滅を図ります。

また、発注者や市民に対し一層の信頼が得られるよう適正就業の周知徹底に努めます。

③ 会員の増強

一人一声運動の推進に加え、「出張入会説明会」の計画的な実施や、様々な広報活動を検討しセンター事業の周知に努め会員の増強を図ります。

また、引き続き女性の就業機会の拡大に向けて、講座などによる市民交流の場を通じ女性会員の増強に努めます。

④ 地域活動の強化

「空き家サポート」事業など地域での事業推進に向け地域班組織の充実に努めるとともに、地域班の自主的な交流機会に協力し、地区長や地域班長との情報共有化に努め、連携を図りながら地域活動の強化を目指します。

１．就業機会の拡大・強化

（１）請負事業や派遣事業、職業紹介事業を有効に活用し、就業機会の確保・拡大に努めます。

（２）「出張就業相談会」を継続実施し、未就業会員などと直接話し合いながら就業意欲の後押しとマッチングに努め就業率の向上を図ります。

（３）既存の就業先の見直しや新規開拓などにより、女性会員の就業機会の拡大に努めます。

（４）適正就業基準における就業継続期間の見直しを行い、広く会員の就業機会の拡大に努めます

（５）就業機会を確保するため「学校用務員業務」など職種に応じて「就業希望者の登録制度」を実施し、迅速な受託体制の構築に努めます。

（６）社会情勢に合わせた就業機会の拡大を図るため、市や関係機関と連携を強化し、「空き家サポート」事業などの展開と充実を図ります。

（７）労働者派遣事業の拡大に伴い、新たな就業機会としての周知に努めます。

２．適正就業の実施

（１）契約書、仕様書の文言や就業形態の適正化に取り組みます。

（２）会員並びに発注者に請負事業や派遣事業、職業紹介事業など十分な説明を行い、適正な事業運営に取り組みます。

（３）長期間、長時間就業の是正に取り組み、多くの会員に就業機会を提供します。

（４）契約を長年更新している業務などについては、適正な就業形態を維持するため、現状を再確認します。

３．安全・適正就業の徹底・推進

（１）安全な就業環境づくりのため、業務内容や就業場所を幅広く選定し安全巡回を実施します。なお、事故発生後は再発防止を図ります。

（２）危険な猛暑日の就業について、熱中症対策について会員への周知を図り、安全就業の徹底と事故防止に努めます。

（３）就業先におけるトラブルやクレームをなくすため、就業上の心構えなど適正就業の周知徹底に努めます。

（４）安全・適正就業強化月間（７月）による組織的活動や、「安全ニュース」による情報提供、毎月１日の「安全の日」の意識啓発により事故の撲滅に努めます。

（５）「安全標語」の活用により、安全就業意識の高揚に努めます。

（６）安全就業の意識を周知徹底するため、仕事別グループリーダー・サブリーダーなどに協力を求め事故撲滅を図ります。

（７）健康管理意識を高め、健康診断の受診を促進します。

（８）「緊急連絡カード」の活用を促します。

（９）賠償事故の自己責任制度の理解を求め、就業時の安全意識を高め事故撲滅を目指します。

４．会員の増強と普及啓発の促進

（１）会員の口コミによる「一人一声運動」を実施し、会員の増強を図ります。

（２）女性会員の就業体験発表や交流会、趣味講座などの企画を有効活用し、女性市民の参加も呼び掛けながら会員の増強に努めます。

（３）入会説明会での理解を深められるようパワーポイントを活用するとともに、「出張入会説明会」の開催を増やし会員の増強を図ります。

（４）会員のための会報となるよう内容を検討します。

（５）ホームページの充実を図り、シルバー事業に関する情報発信に努めます。

（６）公共施設や広告チラシなど情報発信の方法などを調査・研究し、シルバー事業の効果的な紹介に努めます。

（７）市内各種イベントに積極的に参加し、シルバー事業の普及啓発に努めます。

５．研修・講習内容の充実

（１）発注者や地域社会から一層の信頼を得られるよう、トラブル・クレームなどの再発防止のため就業上の心構えや接遇に関する研修会を実施します。

（２）事業理念などを含むシルバー事業の在り方や現況の理解促進のため、入会５年次研修会を開催します。

（３）事業理念に沿った組織体制の確立のため、地区長や班長・副班長、また仕事別グループリーダー・サブリーダーなどを対象とした研修会を実施します。

（４）技術・技能を必要とする職種について研修・講習会を実施し、後継者や新たな就業会員の育成に努めます。

（５）防犯や健康管理など関心を寄せる研修・講習会の開催に努めます。

（６）AED（自動体外式除細動器）の取扱方法を含めた普通救命講習会を実施し、就業会員を中心に技能習得を図ります。

６．運営基盤の強化と社会奉仕活動

（１）会員の増強や就業機会の拡大、運営基盤の確立のため第４次中期計画を策定します。

（２）財政基盤の安定化と自主財源の確保に向け調査・研究するとともに、事業実績に対応した請求事務などの効率化や迅速化に努めます。

（３）仕事別グループと事務局との連携を図り、就業体制の強化に努めます。

（４）地区長や地域班長を中心とした地域班組織の充実と情報の共有化を図り、会員による地域の自主的な交流機会への協力に努めます。

（５）各地域での円滑な業務受託に向け「就業希望者の登録制度」の実施による体制作りに努めます。

（６）組織の活性化のため、各種事業や委員会への会員の参画を促進します。

（７）事業運営に係る諸費用を見直し、経費の節減に努めるとともに、コンプライアンスに基づく組織構築のため、事務局体制の強化に努めます。

（８）川越まつり事前清掃ボランティアなどの社会奉仕活動に取り組みます。